

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501020
事業所名	グループハウス 愛

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 事業所と入居者が町内会に加入し、地域行事や清掃、資源回収に参加したり、ゴミステーションの管理等をして地域に貢献するように努めている。また、積極的に地域の商店や飲食店などを利用することで繋がりが信頼関係が深まっている。事業所主催の餅つきや夏祭り、クリスマス会などには地域の方の参加もあり親睦や交流の場となっている。中学生の職場体験や音楽演奏、フラダンスなどのボランティアを受け入れている。日常的な散歩や買い物などで行きかう人と挨拶や会話をして交流をしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や各ユニットの家族代表、協力医師、民生委員、婦人会会長、地域の有識者、支援センター職員の参加を得て、年6回運営推進会議を開催している。活動報告や情報交換を行い、要望や意見などを熱心に協議し、支援向上に繋げている。また、協力医師の元で認知症や感染症などの研修や家族の健康相談なども行われている。議事録は事業所で閲覧できるようにしている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝え、情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるように努めている。施設長は近隣の「認知症カフェ」で講話やライブをしたり、地域の「認知症講演会」など支援センターの依頼で講師を務めるなど日頃から協力関係や連携を図っている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有シケアに繋げている。家族からは面会時や餅つき、夏祭り、敬老会などの行事の折やケアプランの説明時に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えたり、個人用のお知らせ箱を利用して常にコミュニケーションが取れるよう工夫し、家族に安心を届けている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	◎